３月定例会

●会期　２月21日～３月18日（26日間）

西根病院が地域包括ケア病床の増床により収益増

今回は
市長提出議案　33件
報告　２件
議員提出議案　１件

３月定例会議案採決（議案第23号）

【議案第6号】八幡平市清掃センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて

534万円増額の変更契約を締結

㈱協和エクシオとの工事契約金額を、11億5776万円から11億6310万円に変更するものです。

Q 変更後の増減の見積もりの算出や承認、確認の状況は、どう行われているのか。

A 変更の増減については、工事の工程会議で進捗状況を報告し内容などを精査している。変更部分は協議した上で、金額を算出している。

Q 受注の会社だけでなく、第三者も入れての算定基準であるか。チェックは、行政側の方でやっているのか。

A 変更金額の積算において、工程会議に設計を委託したコンサル会社も入り協議している。チェックについては、建設課職員も確認した上で、金額を算出している。

【議案第7号】旧松尾総合支所解体工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて

1311万円増額の変更契約を締結

㈱遠忠との工事契約金額を、2億9160万円から3億471万円に変更するものです。

Q アスベスト含有建材処理について、残っている作業工程は何か。

A 工事の進捗に伴い、当初の設計の見込みより、結果として除去箇所および数量が多かった。アスベストは、全量適正に処理された。

Q アスベスト建材の存在箇所や数量を把握しない当初設計は、ずさんな設計と言わざるを得ないのではないか。

A アスベストの量に関する書類が見つからなかったため、当初設計との差異が生じたものである。工事の最終変更は、平成31年度に持ち越される。

【議案第14号】平成30年度八幡平市一般会計補正予算（第7号）

9441万円減額の補正予算

歳入、歳出それぞれ9441万円を減額するもので、主な歳入・歳出は次のとおりです。

▼たばこ税　300万円（減額）
▼薬局整備事業補助金　800万円

Q 歳入のたばこ税が、減額補正になっている。今後の見通しを伺う。

A 合併後では、平成25年が2億700万円と最高で、30年が1億8263万円と右肩下がりに減っている。

Q 国の法律で庁舎内での喫煙が規制されるようだが、庁舎の喫煙所について見解を伺う。

A 庁舎内では喫煙できないことになるので、屋外に喫煙所の設置を検討している。

Q 安代診療所で院外処方するとあるが、開設する薬局は採算が取れるのか伺う。

A 民間の薬局であるが、採算が取れるように努力すると伺っている。薬局の運営費補助は考えていない。

【議案第18号】平成30年度八幡平市国民健康保険西根病院事業会計補正予算（第4号）

病院事業入院収益3176万円増額

西根病院事業の収入額を変更するもので、主な変更は次のとおりです。

▼入院収益　3176万円（増額）
▼外来収益　37万円（減額）
▼一般会計負担金　1475万円（減額）

Q 入院収益が3176万円増額になっているが、その詳細について伺う。

A 一般会計負担金の不採算地区運営経費3000万円を減額した。これは、「地域包括ケア病床」の利用が進み、昨年9月から20床増床した結果と判断している。

平成31年第１回定例会　賛否の分かれた議案の採決結果

議案名 ＼ 議員名（会派名）		1 関 治人（八起会）	2 羽沢 寿隆（八起会）	3 工藤 多弘（松西会）	4 勝又 安正（八起会）	5 北口 功（無会派）	6 工藤 隆一（八起会）	7 田村 善男（八起会）	8 井上 辰男（八起会）	9 立花 安文（八起会）	10 渡辺 義光（市民クラブ）	11 工藤 直道（無会派）	12 古川 津好（松西会）	13 田村 孝（八起会）	14 高橋 悦郎（日本共産党）	15 熊澤 博（自由クラブ）	16 関 善次郎（自由クラブ）	17 高橋 光幸（松西会）	18 米田 定男（日本共産党）	19 小野寺昭一（八起会）	20 工藤 剛（市民クラブ）	議決結果
議案第23号	平成31年度八幡平市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	－	原案可決

※賛成＝○、反対＝●　工藤剛議長は採決に加わりません

質問した事項

（八起会）田村　善男 議員……08
・地域農業の将来像について
・部活動指導員について
・運転免許証自主返納の現状について
・学童保育クラブの現状について
・大更駅前開発について

（松西会）古川　津好 議員……09
・施政方針と新規事業について
・教育行政運営基本方針と重点演述について
・トラウトガーデンについて

（自由クラブ）関　善次郎 議員……10
・児童虐待について
・個人番号カードについて
・スキー場整備について
・市有林について
・林道、作業道について

（日本共産党）髙橋　悦郎 議員……10
・大更駅周辺賑わい創出事業について
・国民健康保険制度について
・農業振興について

（市民クラブ）渡辺　義光 議員……11
・市立図書館の現状と新図書館構想について
・再任用職員の人材活用について
・一般質問の検証、具現化について

北口　功 議員（無会派）……12
・市交通指導隊車両の現在の状況と今後の計画について
・風疹の追加対策について
・小中学校のエアコン設置事業について
・毎月勤労統計の不正問題に対する取り組みについて

工藤　隆一 議員（八起会）……12
・観光について
・教育について
・上水道について

工藤　直道 議員（無会派）……13
・子育て支援と子どもの虐待防止について
・大更駅周辺および隣接地域のまちづくり環境整備基本計画について
・生ごみの発生抑制と清掃センター機能について
・部活動指導員の制度化について

羽沢　寿隆 議員（八起会）……14
・八幡平市における歴史、文化などの継承および教育について
・災害対策について

勝又　安正 議員（八起会）……14
・安代地区の観光振興について
・市道鴨志田線ほか整備事業の進捗状況について
・市道白山叺田線の改良について
・女性農業者の取り組みについて
・日本短角牛の振興について

米田　定男 議員（日本共産党）……15
・市女性職員の管理職への登用について
・空き家対策について

工藤　多弘 議員（松西会）……16
・農業振興について
・大更駅周辺および隣接地域のまちづくり環境整備基本計画について
・八幡平市高齢者福祉計画について

熊澤　博 議員（自由クラブ）……16
・畜産振興について
・姉妹・友好都市事業について
・老人福祉・介護事業の在り方について

会派代表質問

（八起会）

田村善男（たむら よしお） 議員

地域農業の将来像

人・農地プランの実現

春耕を待つ農の大地

問　農の大地の実現を進める八幡平市の農業は、持続可能な農業への将来像をどう考え、描くのか。

市長　地域農業を地域全体の課題として、人・農地プランの実現に向けて進捗を図っていく。

部活動指導員

問　部活動の指導や引率などの活動を、教員に代わって担う「部活動指導員」の人数を伺う。

教育長　岩手県教育委員会から市内中学校数を目安として示されており、八幡平市は4人ほどである。

免許証自主返納

問　加齢に伴う注意力や判断力の衰えによる、交通事故の未然防止につながると思うが。

市長　身体機能の低下を自覚し、平成30年は64件の返納があり、年々増加にある。

学童保育クラブ

問　現状の登録児童数と、施設の改善点を伺う。

市長　指定管理9カ所、業務委託4カ所で、463名である。改善点は、施設の老朽化とエアコン設置の必要が生じている。

顔づくり施設

問　大更駅前顔づくり施設としての検討状況は。

市長　昨年10月に顔づくり施設複合施設用地検討業務を発注し、庁内検討会議を設置し、協議を進めている。

（松西会）

古川津好（ふるかわ つよし） 議員

IT講習会参加者の移住

千葉・埼玉などから5名

問　市の事業で、若者の移住に結び付けるコンピューターソフト講習の「スパルタキャンプ」が好評のようである。成果は、どのようになっているか。

市長　前回は、15名の応募があった。キャンプの修了者のうち、現在14名が市の起業家支援センターを利用している。移住者も、千葉・埼玉などから5名になった。

基金の取り崩し

問　平成30・31年と200億円を超える予算で、基金の取り崩しも行われている。今後、基金はどこまで取り崩して事業を進める計画か。

市長　減債基金は、庁舎建設などの償還がピークを迎えるので、公債費の平準化のために取り崩す見込みである。

企画財政課長　財政調整基金は、20億円をめどに取り崩し事業を進めたい。

トラウトの行方

問　新たな利活用が検討されてきたトラウトガーデンは、今後どうなるか。

市長　東京の会社と事業譲渡契約締結を目指して、鋭意取り組んでいる。

教師と生徒の信頼

問　教師と生徒・保護者との信頼が損ねられた事例が報道されているが、当市においてはどうか。

教育長　同様な事はあったが、保護者の願いに耳を傾け、信頼回復に努めている。

講習を終え、起業家した若者たち

（自由クラブ）

関善次郎（せき ぜんじろう）議員

田山スキー場の車道整備

交通量を見極めて検討

問　田山スキー場は車道が狭く、普通車のすれ違いができない。今後、ローラースキーコースが完成すると、選手や応援の方々などで通行量が増える。車道拡幅を行うべきである。

市長　今後、交通量の増加状況を見極めて検討したい。

問　スキー場の車道拡幅改良は、車両の通行量が増えてから行うのでは遅い。ローラースキーコースが整備されると、今までより通行量が増えることは目に見えている。スキー場ゲレンデ整備の付帯事業として、車道の拡幅工事をするべきである。また、車道はゲレンデを横断している冬季でも使用できる車道改良整備もすべきである。

副市長　夏合宿に向けた誘客と現実も考慮しながら、新たな道路を検討したい。

作業道の補修整備

問　補助で整備された作業道は、補修されないで放置されている。崩壊し、車道として利用できない箇所の補修を行うべきである。

市長　森林が伐期を迎え、所有者が自ら行う補修に対して、費用対効果も勘案し、支援の検討を進めたい。

新たに整備を行う田山スキー場

虐待の状況

問　当市での、虐待の状況を伺う。また、虐待に対しての対応策を伺う。

市長　虐待が疑われる事案がある。婦人相談員や家庭相談員を配置して、子どもや家庭の支援を行っている。

（日本共産党）

髙橋悦郎（たかはし えつろう）議員

駅前の新図書館の駐車場

関係者と意見調整したい

八幡平市立図書館

問　建設を予定している大更駅前の「顔づくり施設」内に、新図書館の開設が計画されている。しかし、この敷地は狭くて、駐車場を設置するスペースがないことが問題になっている。見解を伺う。

市長　新図書館の利用者には、周辺にある駐車場を使ってもらいたい。図書館まで歩くことで、まちの賑わいづくりにつながる。しかし、図書館関係者から、図書館の専用駐車場は、利用者の利便性からも必要だという意見が出てきている。駐車場については、関係者と今後意見調整を行っていきたいと考えている。

問　市民がどんな図書館を求めているのか、そのあるべき図書館から出発しないから、問題が起こったのではないか。見解を伺う。

教育長　新しい図書館については、利用する市民がどのような図書館を望んでいるのか、市民の声を聞く機会を持ちたい。その声を十分反映させた新図書館であるべきだと考えている。

問　「顔づくり施設」建設に、新年度は予備設計業務で3500万円の予算が付いている。その内容は。

商工観光課長　今年の用地活用業務を委託したコンサル会社からの提案を受けて、新年度は「顔づくり施設」の規模や機能、そして部屋数など、具体的な予備設計を行っていきたい。

（市民クラブ）

渡辺義光（わたなべ よしみつ）議員

大更駅前に新図書館建設

にぎわいと顔づくり施設

問　今までの図書館の、「読む、貸す、調べる」のハコモノ行政から、コーヒーを飲み、BGMを聞きながら、本に親しみ、子育て機能や市民交流の場を設けたユニークな図書館が全国に出現している。大更駅前の図書館のビジョンは。

教育長　最近、図書館の集客力が注目され、図書館を、まちづくり、市街地活性化、駅前再開発などに取り入れる先進事例がある。大更駅前のにぎわい創出の一環として、図書館は有効な施設である。多くの市民の声を反映し、構想していきたい。

再任用職員の活用

問　平成30年度の退職者は、10数人で管理職が8人、多数が再任用を希望している。特に、管理職の経験や知識を発揮できるような人事配置をどう考えているか。

市長　再任用職員には、後輩職員の指導や育成、多様な行政課題や調査、研究など長年の経験と能力を最大限活用できるよう配置する。

追跡質問文化施設

問　合併以来の懸案事項である多目的文化交流施設について、西根地区体育館の大規模改修に合わせて、構想する（平成29年12月議会）と述べているが、未だ進捗していない。現状はどうか。

市長　西根地区体育館は老朽化が著しく、改修が必要である。32年度策定の公共施設個別管理計画で、芸術文化の拠点施設を検討する。

新図書館建設候補地（大更駅前）

北口　功（きたぐち いさお）**議員**

（無会派）

指導隊車両の更新計画
公用車管理の中で検討

問　市交通指導隊車両の現況と、今後の更新計画について伺う。

市長　防災安全課で管理する市内の交通指導車は、18年から22年経過した車両が4台（安代地区は交通指導車・交通防犯車の共同で2台）、交通防犯車は5年経過1台（西根地区）、20年経過1台（松尾地区）で合計6台を管理している。今年度、車検更新のできない車両はないが、車両が古いことから部品交換ができない車両が出てくるおそれがある。更新計画は、全庁的な公用車管理の中で検討していきたい。

風疹の追加対策について

問　風疹の感染拡大防止に向けた新たな取り組みが実施される。今後の市の取り組みと、準備状況を伺う。

市長　予防接種法施行令の改正により（3カ年計画）、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性が、風疹の定期予防接種の対象者として追加された。所要の整備を行い、抗体検査や予防接種に係る無料クーポン券を発行する。なお、平成31年度は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性が対象であるが、希望すればそれ以前の昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性でも、抗体検査や予防接種を受けられる。市としては、実施に向けて準備を進めていきたい。

市役所に待機する交通指導隊車両

工藤隆一（くどう りゅういち）**議員**

（八起会）

学校全体のトイレ洋式化
年次計画にて大規模改修

問　市内の小中学校の洋式化率について伺う。

教育長　学校全体のトイレ洋式化改修について、市総合計画の年次計画に基づき順次大規模改修を行い、教育環境の改善を図りたい。

問　災害時の避難場所機能も担っているので、高齢者や障害者の利用も想定される。多機能トイレの設置について伺う。

教育長　車椅子使用の障害者だけでなく、高齢者や子ども連れなど、多様な人々の利用を可能とするために、避難場所としてバリアフリー化をしていく。

スポーツ合宿 市民への周知方法

問　観光客誘致の一環として、スポーツ合宿を行っている。市民への周知について伺う。

市長　100人規模で10日間も合宿するのに、ほとんどの人に知られていない現状である。大きな看板とか、庁舎の懸垂幕を使用し、合宿や大会を周知していく。

水道事業経営戦略

問　老朽管の更新事業、布設後40年経過した管が残存し、老朽化に伴う漏水事故が起きている。更新による適正な維持管理や、事故の予防について伺う。

上下水道課長　市全域の水道管および施設、その他配水池などの現状調査をしている。来年度に集約し、更新の方針を立て、32年度に計画を策定する。

洋式化率の向上が望まれる学校

工藤直道（くどう なおみち）**議員**

（無会派）

子育て支援と虐待防止
関係機関連携し早期対応

問　子どもの医療費助成を高校生まで拡大し、無料化を図るべきと考えるが伺う。

市長　県内では、18市町村が無料化を図っている。高校まで拡大したと試算すると、800万円ほどの負担が生ずる。市の財政状況を踏まえた上で、今後検討していきたい。

問　市の児童虐待防止対策について伺う。

市長　要保護児童世帯30世帯、婦人相談関係世帯30世帯ほど、平成29年度の家庭相談件数748件、婦人相談件数632件に対応している。平成30年度も、同程度の件数となっている。要保護児童対策地域協議会など関係機関と連携し、家庭訪問などを行い、早期に適切な対応を行っている。

文化施設建設構想 機能や規模を検討

問　市民に要望の多い、基本計画にもある文化施設建設構想の考えを伺う。

副市長　西根地区体育館の活用が可能か、音響、舞台、座席など、今後検討を図っていく。

問　旧3町村の合併協議会の8つのプロジェクトの協議事項の中で、多目的文化交流施設整備計画として、決議されているが伺う。

市長　合併協議会の案件として、引き継ぎを受けた。今後、市民、議会を交え検討委員会などを立ち上げ、早急に対応していければと考えている。

医療費助成拡大を望む高校生

羽沢寿隆（はざわひさたか）議員
（八起会）

歴史文化の継承・保護
地元の理解と愛着が重要

問　八幡平市には、優れた歴史、文化遺産、伝統芸能などが数多くある。その中でも、漆文化の象徴として歴史的遺産価値の高い岩屋地区の漆室がある。保存し、後世に伝えていくべきだと思うが、当局の考えは。

市長　歴史、文化遺産に関しては、映像記録による保存活動の支援をしている。漆室に関しては、文化財指定という枠にとらわれず、歴史遺産として保存活用、また新たな観光資源として活用していくのか検討していく。いずれ地域による理解と愛着が必要である。

コミュニティスクールへの支援

問　小学校のコミュニティスクールの一環として、歴史文化教育を取り入れてはどうか。また、コミュニティスクールは初年度にしか支援がないが、継続的に支援していくべきではないか。

教育長　コミュニティスクールにおいて、非常に地域と密接した良好な関係が築かれている。引き続き支援できないか検討していく。

河川氾濫防災対策

問　岩木地区では、大雨による避難準備情報が出され、河川沿いの立木がせり出し、危険な箇所が多くある。早急な対応が必要ではないか。

市長　県に対し、その必要性を訴えてきてはいる。また、防災出前講座など、機会あるごとに市民の防災意識の向上に務めていきたい。

岩屋地区にある漆室

勝又安正（かつまたやすまさ）議員
（八起会）

鴨志田線整備事業の進捗
平成32年度に着手予定

大雪で渋滞した荒屋新町中心部

問　整備区間設計が完成し用地測量が進んでいるが、今後の計画について伺う。

市長　来年度は、高畑地区から不動橋付近までの用地測量取得を計画している。工事は、32年度に安代診療所付近から着手予定である。

問　県の事業採択のめどが立っていない状況であるが、現在の進捗状況を伺う。

市長　現在調査中であり、本申請に必要とされる資料が整い次第行う予定である。

安代地区観光振興

問　不動の滝への観光アクセスに伴う整備、早期改良について伺う。

市長　桜松線へのアクセス道路は、鴨志田線整備事業と併せて取り組んでいく。大型バスなどが、通行しやすいよう待避所を検討する。

白山叺田線の改良

問　荒屋地区中心部へのアクセス道路として、整備が必要ではないか。

市長　市道鴨志田線が開通し、荒屋新町駅裏の利用状況を見極めながら検討する。

問　雪捨て場所の対策が必要と思うが、考えを伺う。

市長　除雪維持管理に努め、雪捨て場所の設置についても併せて検討する。

日本短角牛の振興

問　赤べこブランドを立ち上げ、繁殖牛の増頭を図るべきではないか。

市長　短角種の種雄牛管理事業、放牧事業を展開し県と足並みをそろえ検討する。

米田定男（まいたさだお）議員
（日本共産党）

女性職員の幹部登用推進
能力を有する職員を育成

問　男女共同参画基本法第5条では、「男女共同参画社会の形成は、男女が社会の対等な構成員として、国、もしくは地方公共団体における政策の立案および決定に共同して参画する機会が確保されることを旨として行わなければならない」と規定している。現在、市役所内管理職26名中3名、11・5％が女性である。具体的理由は、さまざまあったとしても、結果としてそうなっている。この課題に向き合う大前提は、「性差を根本的な理由とする能力の差は存在しない」ということに確固とした信念を持つことにある。

市長　これまで職員採用に当たっても、また幹部職員の人事についても、男女を差別する意識は毛頭なく対応してきた。

問　この課題を進める上でいまひとつ大事なのは、職員への信頼である。つまり、幹部として必要な研修などを行うことは当然として、まず職員を信頼してその部署に配置する幹部登用するということである。責任感、誠実な資質さえ備えていれば、必ずその部署にふさわしい能力を発揮するという信頼である。

副市長　管理職に必要なのは、リーダーシップ、判断力、一人一人の能力を発揮させる能力である。

問　これは市役所だけの問題ではなく、市役所が地域の中で先駆的な役割を果たすという大きな意義もある。

男女共同参画フォーラム

工藤多弘（くどうたひろ）議員

（松西会）

農業者担い手の確保

各支援事業を活用する

問　農業基盤を維持継続するため、今後の農業施策について伺う。

市長　国の強い農業・担い手づくり総合支援交付金、県のいわて地域農業マスタープラン実践支援事業や市単独事業の八幡平農大地担い手育成事業により、農家の経営基盤の安定、所得の向上に努めていきたい。

大更駅舎の利便性向上

問　大更駅利用者は、東西自由通路を利用して2番線ホーム盛岡行きに行けなく、不便を感じている。対応は、どうなっているか。

建設課長　費用がかさむこと、現在の利用状況では難しいことなどあるが、引き続きJRへ要望していく。

問　大更駅舎の待合室や東西自由通路に、当市の観光PRポスターやパンフレットなどがなく、おもてなしの対応が感じられないが。

商工観光課長　自由通路に9枚ほど掲出している。今後は、観光協会と連携し、年間を通じたイベントポスターを掲出しながら、PRしていきたい。

問　駅待合室は、壁に覆われ暗いので改造できないか。

建設課長　照明を付けるなどできることから検討する。

両親から子へ伝える農業

医師確保に全力

問　在宅医療を率先的に担う医師確保が不可欠である。

市長　八幡平市の利点を生かしながら、医師確保に最大限の努力をしていく。

熊澤博（くまざわひろし）議員

（自由クラブ）

短角のキャトルセンター

要請あれば前向きに検討

問　日本短角種の振興と、キャトルセンター建設の在り方について問う。秋の子牛価格は33万8千円に高騰し、EPA、TPP対策の平成31年度畜産物価格は、12月30日から前倒しで発動した。短角子牛の補給金制度の保証基準価格は、9万2千円も上がり31万4千円となり、追い風となっている。今後は短角と短黒F1牛の肥育にも取り組み、インバウンド観光に応える食材を目指し、試食会も計画している。また、農協の宅配事業を観光施設まで拡大し、牛肉を安価で提供できないか検討している。市当局の考え方を伺う。

市長　短角振興のため優良牛導入助成額を2万円から5万円に上げる予算を組んでいる。短角・短黒F1牛の肥育は、市と県全体で何らかの支援措置で販売促進もやるべきである。短角・短黒F1牛の試食会があれば、参加してみたい。日本短角種のキャトルセンターの建設も、生産部会から要請があれば前向きに検討したい。

短角牛の親子

秋田県鹿角市との姉妹・友好都市は

問　鹿角市とは旧南部藩の鹿角街道の往来で、つながりの歴史があった。特にも安代地区は、経済・医療で深い交流があり、鹿角市を姉妹・友好都市として迎えるべきでないか伺う。

市長　議員から提案があったことを鹿角市にも伝え、検討させてもらいたい。

議会の動き

（1月28日～5月10日）

1月

▶28日　松西会・自由クラブ・工藤直道・会派議員研修（～30日）

▶29日　八起会・渡辺義光・会派議員研修（～31日）、北口功議員研修（～30日）

2月

▶1日　議会改革推進会議議員研修

▶4日　議員全員協議会、議会改革推進会議

▶5日　平成30年度盛岡市政調査会定期研修会

▶14日　議会運営委員会、議会改革推進会議

▶19日　盛岡地区広域消防組合議会全員協議会ならびに平成31年2月盛岡地区広域消防組合議会定例会、岩手県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会ならびに平成31年2月岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会

▶21日　平成31年第1回定例会（～3月18日）、教育民生常任委員会協議会、議会広聴広報常任委員会

▶22日　平成31年盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会ならびに盛岡北部行政事務組合議会議員全員協議会

3月

▶7日　産業建設常任委員会

▶8日　予算特別委員会

▶11日　予算特別委員会、議会改革推進会議、タブレット端末導入調査研究部会（仮称）

▶12日　予算特別委員会

▶13日　予算特別委員会

▶14日　予算特別委員会、議会運営委員会

▶15日　予算特別委員会

▶18日　議員全員協議会、会派等視察研修報告会

▶26日　議会運営委員会

▶28日　議会広聴広報常任委員会

4月

▶15日　議会広聴広報常任委員会

▶17日　議会改革推進会議

5月

▶9日　議会広聴広報常任委員会